

1 前提

該当する地域	県下全域
設定した経営規模	プリンスメロン70a (大型トンネル40a、ハウス30a)、抑制メロン (ベネチア) 30a、秋冬キャベツ40a、水稻200a
自家労働	2.5人
その他	

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
各年次		◎————□□□□□□□□											

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、∩トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A) × R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B) ÷ (C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A) - (D) × (E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (f) × (G) × 利率
作業場	木・瓦	40 m ²	2,520,000	20	504,000	504,000	15	33,600	8	235,200	20	1,882
トラクタ	20ps	1台	1,805,760	12	212,442	212,442	7	30,349	4	91,047	20	728
ロータリ	140cm	1台	416,880	12	49,045	49,045	7	7,006	4	21,019	20	168
管理機	3.5ps	1台	223,560	29	63,715	63,715	7	9,102	4	27,306	100	1,092
動力噴霧機	6.0ps	1台	281,880	25	70,470	70,470	7	10,067	4	30,201	100	1,208
運搬車	6.3ps	1台	462,240	25	115,560	115,560	7	16,509	4	49,526	100	1,981
軽トラック 4WD 5MT	660cc	1台	1,050,000	12	123,529	123,529	4	30,882	2	61,765	100	2,471
建物・構築物計			2,520,000		504,000	504,000		33,600		235,200		1,882
機械・器具計			4,240,320		634,761	634,761		103,915		280,864		7,648
合計			6,760,320		1,138,761	1,138,761		137,515		516,064		9,530

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
メロン	プリンス	大型トンネル	2,250kg	水田転換畑	40a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬~月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a 当たり作業時間			燃 料 消費量 (ℓ/10a)
						機械利 用時間	組 人 員	延労働 時 間	
定 植 準 備	12/中	堆 肥 もみ殻	500kg 1,000kg	軽トラック トラクタ	①有機物施用 全面に散布し、耕耘する。	0.5 2.0	2 1	14.0	ガソリン 1.1 軽油 4.0
	2/下	過石 ランカク バイオノ有機S ソイルテック ネマトリクス粒剤	30kg 80kg 90kg 40kg 20kg	人力、運搬車 トラクタ ロータリ 管理機 灌水装置	②施肥、作畦 土壌改良材を施用し、耕耘し、畦を作る。	1.0 2.0	2 1	19.0	ガソリン 4.0 軽油 4.0
定 植	3/上	クレマート乳剤	300cc	灌水装置	③マルチ、トンネル 除草剤を散布し、マルチする。 2重トンネル被覆を行い地温を上げる。 霜の恐れのある場合、古ビニール等 を利用し被覆する。	0.5	1	38.0	軽油 0.5 ガソリン 0.5
		トンネル支柱 外 " 内 古ビニール ビニール 外 " 内	530本 150本 400m 400m 400m			0.5 0.5	2		
温 度 管 理	3/中~下	ポット苗 ダイヤキャップ	560本 560枚	人力	①浅植えし、ダイヤキャップをかぶせておく。		3	24.0	
整 枝	3/下~6/上			人力	①活着したらダイヤキャップを取り除き内トンネルから順次開閉して適温に管理する。 ②肥大終了後、ビニールの裾は開放する。 ①親づるは本葉4~5枚で摘心する。 ②子づるは揃った3本を伸ばして誘引先端はパイプ際で止める。 ③着果孫づるは着果節より先1葉残して摘心し、着果節のひ孫づるは着果後早めに除く。		1	55.0	
追肥、中耕、灌水、敷きわら	3/中~6/中	住友液肥2号 稲わら ソイルテック	3.3ℓ 125把 40kg	動力噴霧機 灌水装置	①活着の悪い時、樹勢の弱い時は液肥を灌注する。 ②つるが内トンネルから出るようになったら、敷きわらをする。 ③開花5日前ころに灌水をする。 ④1番花収穫後、追肥をし、かん水する。	1.0	2	9.0	ガソリン 1.0
ホルモン処理 灌水	4/下~5/上	ジベレリン液剤 トマトトーン	20cc 20ml	人力 灌水装置	①子房部散布または塗布する。株当たり9果を目標とする。 ②着果後灌水する。	1.0	2	25.0	ガソリン 1.0
玉直し・摘果	5/上~5/中	メロンシート	5,000枚	人力	①開花後、15日頃シートを敷き、玉直しをする。不良果は摘果する。		2	14.0	
収穫・出荷	6/上~7/上			人力 軽トラック	①開花後35日前後に果皮色、果梗の離層、葉の枯れ具合から収穫適期を判断する。 ②朝収穫し、汚れた果実は布で拭いて出荷する。	10.0	1	80.0	ガソリン 22.0
病虫害防除	3/中~6/中	アクタラ粒剤5 ロブラール水和剤 ウララDF	1120g 600g 300g	人力 動力噴霧機 軽トラック	①定植時、株当たり2gのアクタラ粒剤を処理する。 ②交配前、交配後の防除を行う。 ③菌核病、うどんこ病、アブラムシに注意する。	13.5	2	27.0	ガソリン 13.5
後片づけ	7/下			人力	①トンネルをかたづける。マルチは回収する。		2	20.0	
合 計								390.0	

5 経営試算(10a当たり)

区分	科目	金額	説明
粗収益	主産物価額③	981,000	生産量①： 2,250 kg 単価②： 436 円/kg
	主産物価額	0	生産量： 単価：
	主産物価額	0	生産量： 単価：
	副産物価額④	0	
	計 (A)	981,000	
生産原価	種 苗 費	88,480	
	肥 料 費	31,825	使用資材等は技術体系のとおり
	農 薬 費	25,447	〃
	諸 材 料 費	152,851	〃
	動力光熱費	9,216	
	農 具 費	6,639	機械負担価額×4%
	建物等修繕費	1,260	建物・構築物負担価額×1%
	賃 料 料 金	0	
	共 済 掛 金	0	
	雇 用 労 賃	17,560	
	減価償却費⑤	34,379	別表のとおり
	土地改良費	4,285	
	支払地代⑥	0	
	小計 (B)	371,942	
販売費一般	出荷資材費	42,188	
	販 売 諸 費	203,164	
	諸税負担金	2,731	農協賦課金、車検料、固定資産税
	事務研修費	2,824	農業新聞購読料、電話代
	支払利息⑦	1,389	借入資本利率2%
	小計 (C)	252,296	
経 営 費 (D)	624,238	注) (D) = (B) + (C)	
家族労働費見積額 ⑧	477,490	農 従 労 働 時 間： 362.0 生産管理労働時間 5.3 1,300 円/時間	
支払利子・地代算入生産費(E)	1,101,728	主産物単位当たり 490 円/kg 注) (E) = (D) + ⑧ - ④	
自己資本	流動資本利子⑨	21,319	注) ⑨ = ((E) - ⑤ - ⑦) / 2 × 0.04
利子(F)	固定資本利子	2,383	利率4%
自 作 地 地 代 (G)	3,700		
全算入生産費 (H)	1,129,130	生産物単位当たり 502 円/kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)	
所 得 (I)	356,762	時間当たり 971 円 注) (I) = (A) - (D)	
所 得 率 (J)	36	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100	
農企業利潤 (K)	-148,130	注) (K) = ③ - (H)	
家族労働報酬 (L)	329,360	時間当たり 897 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)	
農業資本利潤 (M)	-120,728	注) (M) = (I) - ⑧	

6 労働の作業別、旬別配分(10a当たり時間)

月・旬 作業名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			計		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
定植準備						19.0	38.0																													14.0		71.0	
定植							16.0	8.0																														24.0	
温度管理								6.0	8.0	8.0	7.0	7.0	7.0	3.0	3.0																						49.0		
整枝							1.0	10.0	10.0	20.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0																						65.0	
追肥・中耕・灌水・敷ワ								1.0	6.0	2.0																													9.0
ホルモン処理・灌水												24.0	1.0																									25.0	
玉直し・摘果													7.0	7.0																							14.0		
収穫・出荷																20.0	30.0	24.0	6.0																			80.0	
病害虫防除							2.0	1.0			4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0																				27.0		
後片づけ																								20.0														20.0	
																																						0.0	
																																						0.0	
																																						0.0	
																																						0.0	
																																						0.0	
																																						0.0	
																																						0.0	
																																						0.0	
																																						0.0	
																																						0.0	
																																						0.0	
																																						0.0	
計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.0	38.0	19.0	26.0	24.0	30.0	39.0	23.0	22.0	11.0	31.0	38.0	24.0	6.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	0.0	384.0		